

問 障がい者福祉対策は

答 負担を感じない地域社会を構築する



ゆめプラザ・那須と殺生石の公衆トイレ、2つの道の駅にしか設置されていない点字ブロック

問 町内の公共施設を調査したが、視覚障がい者誘導用ブロック（点字ブロック）は役場にも設置されていない。今後の対応は。

総務課長 多くの利用者が訪れる公共施設を優先に誘導用ブロックの設置を検討する。

問 身体内部に障がいを抱えている方へ配慮した施設や対応は。

保健福祉課長 障がい

児者親の会が中心となつて作成した多目的トイレマップを活用させていた

だ。内部障がいについての啓発活動も行って

問 高齢者も含めた社会的弱者のために、大きな福祉の概念として

（※）アクセシビリティを福祉政策として考える必要があるが、考えは。

町長 進化した概念であるアクセシビリティが

町にも必要である。社会的弱者が少しでも負担を感じない地域社会を構築する。

（※）アクセシビリティ
バリアフリーやユニバーサルデザインなどと同じく社会福祉の概念。障がい者や高齢者だけでなく、全ての人が使いやすく、生活しやすく、サービスを受けやすくするための基準や度合であり、社会福祉のさらに大きな概念。

問 再生可能エネルギーにおけるCO₂削減は

答 大きな成果となるように強化、

環境基本計画にて検討

問 再生可能エネルギーを利活用することでCO₂を削減し、地球温暖化や自然環境の保全を図れるが、町の考えは。

企画財政課長 低炭素社会づくりを推進しており、来年度に計画を見直し、検討していく。

問 太陽光発電パネルが乱立し、景観を損ね

放置される危険性があるが、対策は。

町長 再利用の技術が研究されているので注視したい。

問 林業の振興もCO₂の削減に大きく寄与するものだが、施策の展開は。

農林振興課長 関係機関と連携し活性化を図りたい。

問 環境先進町としてCO₂の削減に取り組む考えは。

企画財政課長 小さなことを積み重ね、将来大きな成果とするべく強化する。

環境課長 環境基本計画の中で今後検討していく。

齋藤剛郎 議員